
III. 中心市街地活性化の 基本テーマ・基本目標・基本方針等

A. 基本テーマ

「住遊融合・新しい都市核」

本来、中心市街地のまちづくりは、商業の活性化のほか、住環境の整備や暮らしの質的向上、良好な景観形成、余暇や趣味を楽しむことが出来る場所や機会の創出など、特別な交流の舞台として創造する取り組みが必要です。

都市の魅力とともに和歌山市ならではの個性を持ち、長時間の滞在が楽しめ、そこに暮らす人々や、そこを訪れそこに遊ぶ人々との交流の風景そのものが、魅力ある日常の情景となるようなまちを、和歌山市の都市核としての中心市街地に創造します。

サブテーマ

基本テーマに掲げたまちを創造するため、以下の4つの課題をサブテーマとして設定し、基本テーマに沿ったまちを創造するためのガイドラインとします。

a) 個店の魅力で人を惹きつけるまち

個店それぞれが魅力的になることによって人が賑わい、また、人を惹きつけることができ、その魅力が集積されて全体の魅力となるような商業集積があるまち。

b) お気に入りの風景やスポットのあるまち

そこに住む人や訪れる人が、お気に入りの風景やお気に入りの特定の場所を持つような、文化の香りがし、歴史を感じるなど、他所にはない独特の雰囲気を持った場所のあるまち。



c) 長い時間ゆっくりと過ごせるまち

そこに住む人や訪れる人が、買い物をしたり、風景を楽しんだり、学んだり、遊んだり、落ち着ける場所を持ったり、時間をかけてまちを歩いたりすることができるような、長い時間過ごせるまち。

d) 高齢になっても生き生きと暮らせるまち

子どもから高齢者まで、そこに住むことで生き生きと暮らせ、地域のコミュニティがあり、趣味を楽しむ生活ができ、アクティブな暮らし空間や時間があるような、地方の都市核として、洗練されたライフスタイルで暮らせるまち。



B. 基本目標

「高機能で暮らしやすく、来て楽しい、 どこにもない場所の創造」

中心市街地は、商業の魅力ある展開はもとより、都市機能が充実し、高齢になっても暮らしやすく、ひとりでも家族でも楽しく時間を過ごせ、全ての世代の人たちが自分のまちとして誇れるようなまちとします。

また、そのために、新しい視点で、市民と行政が協働して大小さまざまな試みを積み上げ、他の地方都市とは一味違うどこにもない場所を中心市街地として創り上げます。

C. 基本方針

「自分たちそれぞれに出来るまちづくり」

本計画においては、市民、商業者、地域住民、行政といったそれぞれの立場で、それぞれが(連携することにより)自ら実現可能なことを念頭に、まちづくりを考えます。

基本テーマ、基本目標を考慮し、主として5年以内に取り掛かることができる事業を計画に盛り込み、民間の活力を最大限に活用した、実行力のある計画とすることを目指します。

また、サブテーマを基本方針に基づく方針とします。

なお、本計画に位置づけられた各種事業が円滑に実施されるためには、地域住民を始め、本計画に関わる全ての人たちの理解と協力を得ることが重要です。

